

内閣官房マイナンバーテクニカルサポートより、秋田市番号制度担当者に対し、個人番号に係るセキュリティプログラムを配信した旨の不審メールが送付された情報を受けましたので、注意喚起いたします。

- ・当メールは、当室とは一切関係ないものです。
- ・添付ファイルについて決して開かないようご注意ください。
- ・状況については、現在調査中でございます。

内閣官房マイナンバーテクニカルサポートより秋田市に送付されたメールは以下のとおりです。

-----以下メール本文（一部伏字処理）-----

TO:*****@city.akita.akita.jp

FROM: *****@cas.digital-pmo.go.jp

時刻：2015/10/07 10:02

件名：マイナンバー対応のセキュリティパッチ配布について

添付：SecureMN.exe

本文：

秋田市 ご担当者様

内閣官房 社会保障改革担当室でございます。

(突然のメール失礼致します。)

内閣官房では、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の円滑な導入に向けて「情報提供ネットワークシステム等」、及び「監視監督システム等」について整備を進めている状況です。

平成 29 年度までに遅滞なく着実に社会保障・税番号制度の運用を開始するために、関連省庁・地方公共団体および医療保険者等のデータ保有機関が連携することが重要であります。

一方で、今般の年金機構の事案に起因するセキュリティへの不安が生じております。これを解消するため、この度、社会保障・税番号制度の 12 桁の個人番号をインターネット上に送信することを防ぐセキュリティプログラムを作成いたしました。

このアプリケーションは主要なブラウザに対応し、12 桁の個人番号を識別すると、そのデータをインターネット上の C&C サーバーに送信するのを防ぎます。

添付のプログラムを実行し、マイナンバーのセキュリティ向上にご協力くださるようお願いいたします。

